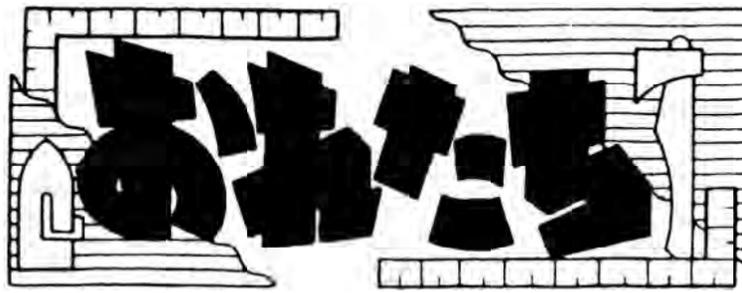


無料法律相談日の案内

12月18日(金)14時~16時

希望者は前日までに予約を

11月当初組合員数=2001人(+13人)



発行所
東京土建一般労働組合荒川支部
東京都荒川区荒川6-3-1
TEL(3892)9131 FAX(3892)9381
発行者・津田宗久/編集長・薄井章
http://www.doken-arakawa.org/

秋の拡大行動結果

分会名	2020年1/1付現勢	秋の拡大月間			2020年11/1付現勢	1/1比増減
		月間目標	第8次節目目標(100)	成果		
01 西尾久	288	10	10	3	288	0
02 東尾久1	130	5	5	5	130	0
03 東尾久2	166	6	6	2	159	-7
04 荒川	269	10	10	12	267	-2
05 町屋北	171	6	6	2	164	-7
06 町屋南	192	7	7	10	192	0
07 日暮里1	127	5	5	2	122	-5
08 日暮里2	162	6	6	3	158	-4
09 南千住	169	6	6	6	170	1
10 事業所	202	7	7	4	209	7
20 直風	141	3	3	6	142	1
合計	2,017	71	71	55	2,001	-16
レディース荒川	305	20	20	20	302	-3
青年部	43	6	6	6	38	-5
荒友会	209	10	10	10	215	6

コロナ禍でも55人が加入 11月1日現勢は2000人を回復



左=1番に目標達成した荒川分会 右=最後に奮闘し達成した南千住分会

【組織部発】月間成功のために連日連夜・昼夜を問わず大奮闘された、多くの組合員・家族の皆さんに心より敬意を表し、あらためて御礼申し上げます。支部(本部)目標71人に対して最終成果は55人となり、あと16人(昨年13人)を残して達成をすることができませんでした。

11月現勢は2001人となり、2000人を回復することができました。

分会別では東尾久1、荒川、町屋南、南千住分会が目標を達成しました。つづいて、日暮里2、事業所分会が目標の50%以上の到達となりました。また、ザ・レディース荒川、青年部、荒友会



達成を喜ぶ町屋南分会

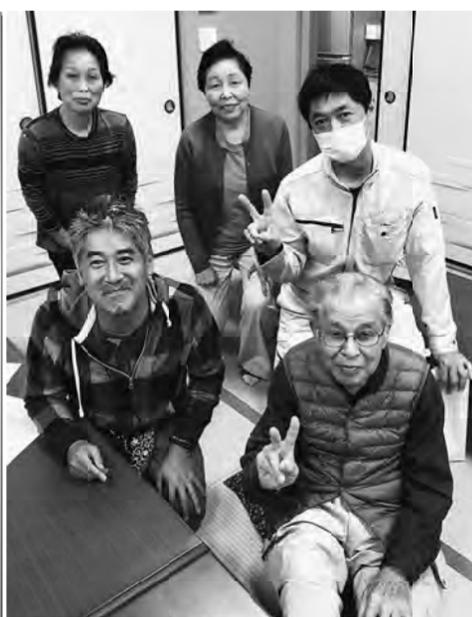
も、それぞれ目標を達成しました。

月間の取組み

月間の取組みでは、春の月間に続いて「コロナ禍」という、これまでに経験したことのない状況で、「訪問して対話して交流する」組合の基本行動が制約され、新しい組合活動を模索しながらの月間となりました。コロナ禍のなかで「自分

たちのできること・やるべきこと・仲間の声を聞き助けること」を行動の基本にしました。また、書記局と分会役員チームを組んでの昼間事業所訪問や夜間の組合員訪問、後継者対策部もオルグに入り後継者世代対話行動など、拡大行動と聞き取りを地道に展開していきまし。コロナ関連助成金や給付金の案内や書記局では個別申請サポートにも尽力しました。

所への行動は減少してしまったことは今後の課題となります。組合本来の助け合いの精神を発揮し、多くの仲間へ寄り添い、感謝される月間であったことは大きな前進であり、評価すべき点です。目標としていた全組合員(事業所)との対話(訪問)には至っていません。目標達成には、ベテラン活動家だけでなく、新しい仲間参加を呼び込み、参加者数を増やしていく必要があります。



達成を喜ぶ東尾久1分会

どけん地震共済に入ろう 掛金は40口4千円から

皆さん、どけん火災共済とセットで入れるどけん地震共済をご存じですか？

掛金は40口(全壊で200万円の共済金)から鉄筋造なら4千円、木造なら6千600円で加入できます。口数の上限は建物200口、家財40口まで加入でき、全壊の場合は1千200万円を限度に給付されます。

どけん火災共済では地震による噴火や津波だけでなく、地震が原因の火災も地震保険に入っていないと見舞金しか給付されません。日本にいる以上は地震からは逃げられません。でも地震の被害からは共済でカバーできます。入ろうと思っただけがチャンスです！



どけん

毒キノコ

「食用」と誤解した食中毒に要注意

キノコは、おいしい秋の味覚の一つ。でも毎年この季節になると野生のキノコを原因とする食中毒が数百件も発生し、亡くなる人もいるので要注意です。消費者庁などによると、キノコによる食中毒は食用キノコと外見がよく似たものを誤って食べてしまうことが主な原因。安全に食べられると確実に判断できないキノコは、絶対に「採らない」「食べない」「売らない」「人にあげない」ことが大切です。毒キノコの見分け方や食べ方についても、さまざまな誤解や誤った言い伝えがあるので注意が必要。「茎が縦に裂けるキノコは食べられる」「毒キノコは派手な色をしている」「虫が食べるキノコは人も食べられる」「ナスと一緒に煮ると毒が消える」「毒キノコは塩漬けすれば食べられる」などはすべて誤りです。

平和取材 其の②

平和の中の影

人肉まで食べ、語らずに死ねるか

生き地獄であった(2)

【南千住II竹達浩記者】
9月19日〜22日、反戦活動をしている「戦場体験放映保存の会」主催による、「戦場体験者と出会うWB茶話会」が浅草公会堂で開催され取材しました。
語り部の谷川末廣(99歳)さんの談話は、1944(昭和19)年8月15日フ

イリピン・ミンダナオ島北端のカガヤン上陸から、1945(昭和20)年9月30日の投降に至るまでの約一年間の出来事を断片的に語りました。
谷川さんの談話を記述する前に、ミンダナオ島における終戦間際の日本軍の悲惨な戦況の理解のために、



wikipedia掲載画像

戦傷	損害	戦力	
7000人	25000人超	43000人	日本軍
2880人	820人	35000人	連合軍
		ゲリラ	
		24000人	

戦争による被害状況

飛行場の爆破

する事すらできません。

広大なミンダナオ島内はゲリラ活動が非常に活発で、広域に分散した日本軍の連絡は困難を極め、結果的に指揮系統が断たれ各個撃破されることとなった。
ミンダナオ島に対する連合軍軍の本格的進攻は、1945(昭和20)年3月、ゲリラに島西部のディポログの仮説飛行場が占領されたために、アメリカ陸軍歩兵師団・海兵隊が空輸されたことに始まる。

3月7日、アメリカ艦隊がサンボアンカに対して3日間及ぶ艦砲射撃を展開し、市街地と飛行場を含む平野部はアメリカ軍の占領下となった。直ちにアメリカは工兵隊を上陸させ複数の飛行場を整備したために、日本軍の戦況は一層厳しいものとなった。

飛行機は1機もない、しかし飛行場であるがために(蒼井優)は「わたしは正義より幸福を取ります」と、勇作が満州から持ち帰った秘密のノートを憲兵隊に差し出してしまします。そして優作は憲兵に連行され……。

主役・蒼井優が、はかなげでいながらも芯の強い女性を圧倒的な存在感で演じ、高橋一生とともに観客をサスペンスの世界へぐいぐいと引き込みます。10月16日から全国公開。

ひとくち映画情報

『スパイの妻(劇場版)』

黒沢清 監督



©2020 NHK, NEP, Incline, C&I

9月初めに開催された第77回ベネチア国際映画祭で銀獅子賞(最優秀監督賞)を受賞した社会派ミステリー作品です。
太平洋戦争開戦間近の1940年。神戸で貿易会社を営む優作(高橋一生)は、仕事で赴いた満州(現在の中国東北部)で恐ろしい国家機密を知ってしまいます。

正義のため、国際社会に事実を公表しようとする優作。だが、妻・聡子

連日攻撃が繰り返された。4月26日、司令部より爆破命令が下り、飛行場を爆破し山岳戦にはいった。

大隊の解散

※独立混成第54旅団は敗走中の5月末に有力なアメリカ部隊に包囲され、旅団長の北条少将は部隊の解散を命じて自決した。独混第54旅団の生存者は、10月の投降時点で総兵力5200人中1200人であった。※(出典 ウィキペディア)

6月下旬、部隊長より大隊が解散したのでこれ以上部隊として行動はできない、4・5人に分かれて自活してもらいたいとの泣きながらの部隊長の訓示で部隊は解散した。

無法地帯

解散翌日、私が所属する中隊のある軍曹が兵2〜3人を連れて、大隊の非常食糧倉庫を襲撃した。既にそこには大隊の主計兵が5名乾パンの箱の陰に隠れていたが、銃剣で刺し殺した。また、部隊の解散によ



wikipedia掲載画像

アズベスト勝利に向けて千人集会 全面解決求め原告らが集会



するために、東京、神奈川、埼玉、千葉の建設組合が千人集会と銘打って、雨の降る中で支援集会を開催しました。支部からは6人の仲間が参加しました。

提訴してから12年がたち近々最高裁で判決が下ります。建設アズベスト裁判では、地裁、高裁あわせて国に14連勝しています。一人親方も賠償の対象となつていきます。最高裁判決も勝利間違いありません。

小野寺弁護士は、ステージから「この争いの頂上が見えてきた、今が一番きつところにあります。弁護団も最後まで頑張ります」と激励発言しました。

各会派からも訴えを行い、立憲民主党の近藤昭一衆院議員は「日本はなぜ(アズベストに対する)規制が遅れたのか。国に向き合ってもらわなければならない。一刻も早く補償基金制度を作っていく」と述べました。社民党の福島みずほ党首(参院議員)は「補償基金制度を創設し、これから(関連する病を)発症する未来の人たちについても救済していきたい」と訴えました。

【荒川II磯部正三記者】10月8日、日比谷野音でアズベスト最高裁判決に勝利

つけないので別の道を行く。5〜6人の兵が輪になって近づくと、倒れた生死不明の兵の爪を剥がそうとしている。もう連れて歩けないので家族に爪を持っていくと言っていた、兵の目から一筋の涙が流れていた。ある処で顔色がよく太った兵隊たちに会う、羨ましくなり何を食べているのか聞いたが、ニタッと笑って返事をしない。匂いは肉、分けてくれと頼むと3人でコンコン相談して飯盒の中盒に、肉と野菜を煮たものをに入れてくれた。礼を言っ

つけないので別の道を行く。5〜6人の兵が輪になって近づくと、倒れた生死不明の兵の爪を剥がそうとしている。もう連れて歩けないので家族に爪を持っていくと言っていた、兵の目から一筋の涙が流れていた。ある処で顔色がよく太った兵隊たちに会う、羨ましくなり何を食べているのか聞いたが、ニタッと笑って返事をしない。匂いは肉、分けてくれと頼むと3人でコンコン相談して飯盒の中盒に、肉と野菜を煮たものをに入れてくれた。礼を言っ

谷口さんは班長としての自覚から、グループの者に「これからは階級はない、みんな家族だと思って元気な者は弱い者に分け合おう」と、もう1日頑張れもう1日頑張れといって1945年(昭和20)9月30日に投降した。